

糖尿病患者さんと向き合うために

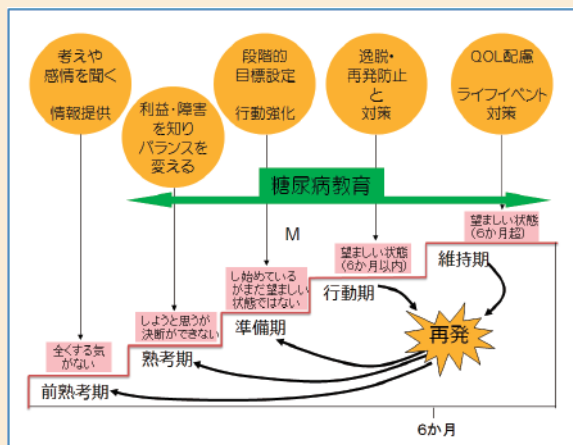
薬局薬剤師は、糖尿病患者さんが受診したその日最後に会う医療従事者です。薬剤師の態度・知識・技能が、次の受診日までの患者さんの行動変容に大きく影響してしまう可能性があります。その点を踏まえて、糖尿病患者さんと向き合っていきましょう。

糖尿病治療の目標

1. 血糖、体重、血圧、血清脂質の良好なコントロール状態の改善・維持
2. 糖尿病最小血管合併症（網膜症、腎症、神経障害）および動脈硬化性疾患（虚血性心疾患、脳血管障害、閉塞性動脈硬化症）の発症・進展の防止
3. 健康な人と変わらない生活の質（QOL）を維持するとともに寿命の確保

地域薬局での糖尿病支援

1. 「Checker」 …… 医薬品適正使用のための処方鑑査
2. 「Adviser」 …… 医薬品適正使用のための処方設計支援
3. 「Educator」 …… 医薬品適正使用のための患者の知識・技能の監視・支援および患者の自己管理能力および意欲を高める
4. 「Mediator」 …… 医薬品適正使用のために付随した生活習慣（病識・食事・運動・禁煙・休養）に関する知識・技能の評価・支援、および専門家への橋渡し



(心理学的アプローチ:石井均)

実践その1：アプローチ

まずは、患者さんが何でも話したくなるような環境を、できるだけ整えます。何よりもまず、患者さんの病気が良くなることを願って、患者さんの気持ちによりそって、観察、傾聴、共感、確認です。

実践その2：患者さんの療養エンドポイントは？

信頼関係ができれば、患者さんと医師が決めた療養目標について、傾聴、確認していきます。教科書ではEBMに基づいた一般的な目標が設定されていますが、患者さんの病態は個々によって異なります。個々の患者さんの目標は年齢・病態・時期などによっても変化します。

コントロールの判定値		優	良	可	不可
血糖値	空腹時	80~110未満	110~130未満	130~160未満	160以上
血糖値	食後2時間	80~140未満	140~180未満	180~220未満	220以上

日本糖尿病学会編：科学的根拠に基づく糖尿病診療ガイドライン

目標血糖値記入欄

私の目標血糖値は、空腹時(食前)血糖値: _____ mg/dl 以下です
食後2時間(食後)血糖値: _____ mg/dl 以下です

※食後2時間とは、食事を開始した「食べ始めた時間」から2時間後を言います

コントロールの判定値	優	良	可	不良	不可
ヘモグロビンA1c(%)	5.8未満	5.8~6.5未満	6.5~7.0未満	7.0~8.0未満	8.0以上

日本糖尿病学会編：科学的根拠に基づく糖尿病診療ガイドライン

ヘモグロビンA1c値記入欄

私の目標ヘモグロビンA1c値は、 _____ %以下です。

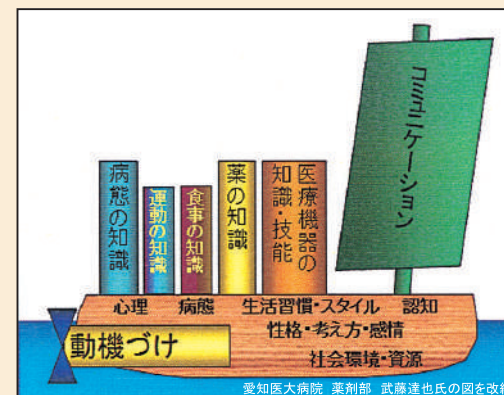
実践その3：糖尿病手帳の利用

糖尿病といっても病態はさまざまです。教科書的に画一的な指導を行うことにより、かえって患者さんを惑わし、医師やその他のチームメイト(コメディカル)の支援を妨害してしまうかもしれません。糖尿病手帳などを利用して、できるだけ病態の把握に努めます。



実践その4：専門家への橋渡し

患者さんが医師等の話や指示をどのくらい理解しているか確認します。患者さんが確実に理解していないところは、再度、医師等に確認するよう、お薬手帳や糖尿病手帳などに書き添えて支援します。同時に、医師の考えを薬局薬剤師も把握することができます。たとえば、心疾患などによって運動が制限されているかもしれない患者さんに、勝手に運動を勧めては危険です。医師のメディカルチェック・指示が必要です。



愛知大病院 薬剤部 武藤達也氏の図を改編

平成22年3月発行
発行 北多摩北部医療圏医療機能連携協議会
東京都多摩小平保健所
印刷 有限会社小野印刷